

J R 総連通信

2022年5月6日 No.1551

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

改憲発議許さない！ 守ろう平和といのちとくらし2022憲法大集会！



5月3日、平和といのちと人権を！5・3憲法集会実行委員会主催の「改憲発議許さない！守ろう平和といのちとくらし2022憲法大集会」が、3年ぶりに東京・有明防災公園で開催されました。当日は1万5千名が結集し、JR総連からは170名が参加しました。

主催者を代表して藤本泰成実行委員長は「ロシアのウクライナ侵攻は、武力による威嚇・行使を禁じた国連憲章に違反しており、絶対に許せない。今こそ憲法9条の絶対的戦争否定の思想が必要である。戦争で犠牲になった人に思いを馳せ、憲法の意義を問い直そう」と述べました。

スピーチでは、「敵基地攻撃能力の保有は全面戦争を呼び込み、国民の命は守れない。政府によって二度と戦争の惨禍を起こさせないと定めた憲法の改憲を阻止しよう（改憲問題対策法律家・大江京子氏）」「沖縄は今年本土復帰50年。復帰前はアメリカの軍事政権下で憲法も適用されず、いわば人間扱いされない20年間だった。沖縄の人々は声をあげ続けて憲法の適用と本土復帰を認めさせた。今、日米地位協定が憲法よりも上に位置づけられている。私たちが声をあげていこう（琉球大学・高嶋伸欣名誉教授）」「憲法9条は不戦の誓いであると同時に、国のお金を軍事ではなく、社会保障など私たちの生活のために使う仕組みであるが、今崩されようとしている。私たちの生活を考えるからこそ、9条をなくしてはいけない（和光大学・竹信三恵子名誉教授）」など、様々な角度から改憲阻止について訴えました。

その後、参加者1万5千名でパレードをおこない、市民に対して憲法改悪の危機を訴えると共に、憲法9条を守り広めることの大切さを訴えてきました。

新型コロナウイルスや、ロシアのウクライナ侵攻に乗じて、憲法改悪の動きが加速しています。この平和の危機を主体的に受け止め、75年間守り抜いてきた平和憲法の大切さを、職場と地域から広めていきましょう。